動き出した高速道路！
中国横断自動車道 尾道松江線建設事業

中国横断自動車道尾道松江線は、広島県尾道市と松江市を結ぶ延長137㎞の高速自動車国道です。

この区間の宍道ＪＣＴ～松江玉造ＩＣ間は、山陰自動車道と共用し三刀屋木次ＩＣ～宍道ＩＣ間（12.2㎞）は、平成15年3月より供用開始しており、現在、三刀屋木次ＩＣ以南（広島県境まで）の現地調査、地元設計協議、用地買収など建設事業が進んでいます。

建設までの経緯

尾道松江線は、平成元年に三次～松江間の基本計画、平成8年に三次～三刀屋間の整備計画がそれぞれ決定されています。

そして、平成9年には吉田掛合～三刀屋間の施行命令が出され、平成10年には同区間の工事実施計画が認可されました。更に同年、口和～吉田掛合間の施行命令が出され、平成11年には同区間の工事実施計画が認可されています。

これまで高速自動車国道は日本道路公団が事業主体で整備してきましたが、国土開発幹線自動車道建設会議において、尾道松江線（尾道～三刀屋木次間）は、整備計画の変更により平成16年1月に、新直轄方式（※）として整備されることとなりました。

▲尾道松江線広島県境～三刀屋木次IC間の新直轄区間指定を受け、平成16年5月23日には、三刀屋町六重地内で杭打式が開催されました。

吉田掛合IC～三刀屋木次IC間の進捗状況

現在、この区間については、建設に係る用地説明会を木次、三刀屋地区でそれぞれ終了しており、平成16年度末には各地区で地権者会が設立されます。そして平成17年度中には、土地所有者との協議が進められ、用地取得後工事着手となります。

また、同時に工事用道路の着手、埋蔵文化財調査も併せて行われます。

広島県境～吉田掛合ICの進捗状況

この区間については、路線の測量・調査・設計などが終わり、平成17年2月25日に国土交通省、日本道路公団、島根県、雲南市、地区代表者など関係者が出席し、吉田健康福祉センターで設計協議の調印式が開催されました。

調印式では、速水市長の挨拶などに続き、関係者が設計協議書の確認と調印を行いました。

今後、幅杭設置の後、用地測量が実施され、平成17年度末頃には用地説明会が開催される予定です。

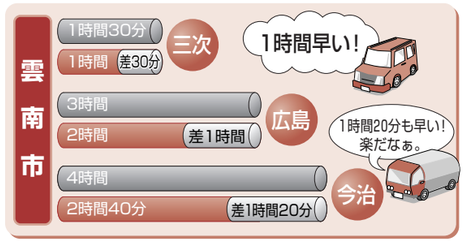
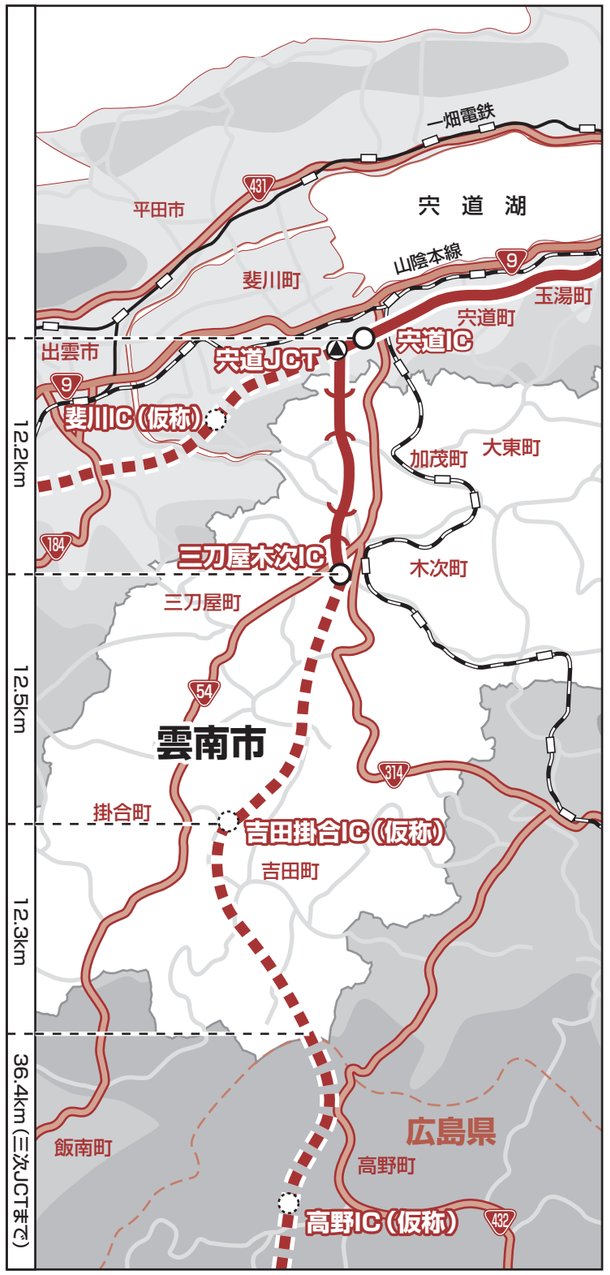
※新直轄方式とは

日本道路公団が建設中の整備計画路線（約2千㎞）のうち、採算性の低い路線・区間を対象に、国と都道府県が3：1の負担割合で建設する方式です。事業主体は国土交通省で、完成後の通行料金は無料となります。

今後の動き

三次ＪＣＴ～三刀屋木次ＩＣ間の総事業費は約2,300億円。その内広島県境～三刀屋木次ＩＣ間の事業費は約890億円で計画されています。

尾道松江線の開通は、西瀬戸自動車道（しまなみ海道）を経由し、四国を結ぶ中四国地域連携軸の形成基盤として、新たな広域連携軸が形成されるほか、陰陽間の交流や産業、経済、医療、教育活動なども拡大され、地域振興・活性化などが図られることが期待されています。



雲南市としても、全線の早期完成に向け、国、島根県・広島県をはじめ沿線自治体と一体となり事業に取り組んでいきますので、関係のみなさんのご理解とご協力をお願いします。